



自治労HP



ご意見
フォーム



じちろろ

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0273
FAX 03-5210-7422
定価一部30円1年間900円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

特別対談

新入組合員から年長者まで 自由な議論で 風通しの良い組合を

4月、多くの新入組合員を迎え入れる季節となりました。いつの時代も、若手と年長者間の意識のズレやすれ違いを経験してきた組合活動。今回、兒玉聖史本部青年部長と仙台市で働く労働組合連合会の東海林望さんに対談をお願いし、世代を越えて風通しよく活動できる組合にむけ、お話をいただきました。(対談日：2023年3月9日)

若い人の視点は必要不可欠



宮城県本部
仙台市で働く労働組合連合会
とうかいりん
東海林 望さん

兒玉聖史青年部長(以下、兒玉) 早速ですが、東海林さんは組合に入ってからどのくらいですか？

東海林望さん(以下、東海林) みなさんはじめまして。宮城県本部・仙台市で働く労働組合連合会の東海林望と申します。10年ほど前になりますが、入職後すぐの組合説明会で加入しました。説明を聞いて、なんとなく組合って必要なのだろうな、という感じで、なんとなくで加入しました。その後は、職場の組合役員へと誘われたりもしましたが、あまり気乗りせず断っていました。でも現在は、組合のアンダー35で役員をしています。役員歴は3年と半年ほどになります。

人として仲良くなる、というステップを踏みませんか？

兒玉 東海林さんはこの間、中央本部の集会や学習会等に積極的に参加してもらっており、一度ゆっくりお話しできないかなあと思っていたところでした。単組に戻られてからも会議等で発言もされているとか…。さて、単刀直入にうかがいます。組合活動やさまざまな場面で私たち若年層との世代間のズレを感じることはありますか？

東海林 いろいろ感じますね。如実に感じたのは、最近の出来事なのですが、いわゆる親組合の会議の場に青年層も入って議論した時のことです。

兒玉 会議の議題は何ですか？

東海林 新規採用職員の組合加入を促進させるための会議でした。加入促進のために、がやがやと熱い議論が飛び交うのですが、個人的には、大きな違和感がありました。うまく言葉にしようがないのですが、「押しつけがましい」「圧がありすぎる」「数字にこだわりすぎかな」などです。なので会議の最後に

思わず、いわゆる「ちゃぶ台返し」、みたいな発言をしてしまったのです。

兒玉 何と言ったのです？

東海林 「どうやって勧誘するかの前に、まずは、人として仲良くなる、というステップを踏みませんか？」という感じの発言です。その時は違和感の塊でしたのでその発言だけだったのですが、自分の入職時からの組合に対する意識を振り返りながら整理してみると、こういうことなのだろうと思います。

ひとつは、組合をまだよくわからない人に、いわゆる組合論を熱く語っても全然「刺さらない」、ということなんです。むしろその熱量に引きまされます。もっと言うと、それはややもすると、相手の事情や価値観に思いをはせない一方的で強引な物言いにつながります。実は、最初に話した組合役員への誘いを断った時も、同じことを感じていました。その物言いは、組合活動でいう「他者の悩みや問題を自分ごととして捉える」とは反対の向きに思えるのです。

仲間のことを、自分ごととして捉える想像力

兒玉 実は僕も、例えば沖縄の問題を「自分ごととして捉える」ことの重要性をこの間も発信してきています。東海林さんと僕の話で共通するのは、「組合に入っているかどうか」だけで



その人を捉えるのではなく、まさしく「同じ職場に働く仲間」として職場の悩み事や問題を自分ごととして理解、共感し、寄り添っているかどうか、が問われている、ということなのかなあと感じますね。

世代を越えて、「その仲間の悩みや考えや価値観を、まずは相手の文脈で捉え(いわゆるエンパシー)」、それに寄り添い、一緒に悩み、考える姿勢が大切ということになるのかもしれないね。

東海林 はい。実は、私も昨年沖縄に学習に行き、兒玉さんの話を聞いているのです。

兒玉 そうなのですね。ありがとうございます。戦争時の出来事や苦勞、またこの国の過去の歴史を私たち自身が

まさしく「自分ごと」として捉えることができなければ、現在をどう考え、未来をどう描くかを考えることはできないという視点でしたね。そのあとの青年部福島スタディツアーでも同様です。

東海林 その学習の経験もありつつ、一方で職場の同期に組合加入を相談されたときの経験から、仲良くなるのが先じゃない？っていう実感もあって、今の感覚に至っていますね。結構思い切って発言しましたが、会議後に、「組合って、組合員どうし平等だから、自由な発言でOKだよ」と言われて、そうなんだ～と思いました。

発言しやすい雰囲気づくり

東海林 最近、「発言しやすい雰囲気づくり」というキーワードも考えています。思い切った発言も、単組のアンダー



35の活動で青年部長が、ざっくばらんに話がができるような雰囲気を作り出してくれていて、自由な議論、ときには「そもそも論」や「ちゃぶ台返し」もあり、ということが青年層で広がってきたことも背景にあると思っています。

兒玉 年長者たちも、若い組合員に発言して欲しいし、「もっと言っているけれど、若い人から見ると、年長者だし、空気も違うし、「超言いつれー(づらい)」ってなりますよね。



自治労本部
青年部長
兒玉 聖史さん

すれ違いを解消し
みんなの力をあわせ
大きな力に

東海林 言いづらいですね。やっぱりキーワードは「平等」、そして「自由」なのかな。若い人って、職場の中で上司から指示されながら仕事をしているので、組合活動の中でも年長者の言うことを聞かなくちゃ、というマインドになりがちなのかなと思います。なので「平等」という発信を組合内部でもっとしてもいいのかな。

例えば私たちが、年長者との議論で自由な発言をし、それを年長者も受けとめる。そんな場面を、組合に入りたての若い組合員が見かければ、「あっ自由でいいんだ」というふうになって、発言も活発になるとも思います。若い人が持つさまざまな視点は、組合の活性化や可能性に必要な不可欠です。

年長者たちも若い人の視点や発言を待っている

兒玉 そうですね。年長者たちは若い人の視点や発言を待っているし、欲しがっているけれど、若い人の中には、それこそ熱量の違いとか知識量の違いもあって(学習大事です!)、「無知で何か発言して邪魔したら申し訳ないな」という気持ちもあつたりして、お互い間ですれ違いが生じているそうです。そのすれ違いを何とか解消して、例えば新規採用職員の組合加入の取り組みで若い人にアプローチする時に、みんなの力をあわせ、大きな力にすることができるようになっていきたいですね。本日はありがとうございました。

東海林 ありがとうございました。

参議院議員 大分県選挙区補欠選挙

自治労組織内 吉田ただともさんを推薦決定



自治労は3月23日の第14回中央執行委員会、4月23日に行われる参議院大分県選挙区の補欠選挙に吉田ただとも前参議院議員(比例代表)を組織内候補として推薦することを決定した。

吉田さんは、1979年に大分県庁に入庁。大分県職労委員長、大分県議会議員を経て、2010年に参議院選挙比例代表で初当選。自治労組織内国会議員として活躍している。

「1自治体1協力議員」めざしてがんばろう



徳永佳紀 政治局長
徳島県職労出身。2015年、自治労本部中執に就任。2019年より政治局長。

統一自治体選挙が始まった。私たちのくらしと仕事に直結するこの選挙闘争に、自治労はどう取り組むのか。徳永佳紀政治局長に聞く。

私たちの『声』が 地域を変え日本を変える

3月23日、9つの道府県知事の選挙が告示され、4月9日投票の統一自治体選挙の前半戦がスタートしました。

自治体で働き、地域でくらす私たち自治労組合員にとって、無関係ではられない、大切な選挙です。自治体の職場は今、財政縮小と慢性的な人員不足、業務の多忙化などで、疲弊しきっています。これを打開するためには、私たちの『声』を議会に反映させてくれる協力議員が必要です。自治労は、「1自治体1協力議員」の確保を目標としています。

地域が変われば日本全体も変わります。コロナ禍の中で、公共サービスの重要性が国民に再認識された今こそ、「自治の力・公共の力」を、自信を持ってアピールし、推薦候補を応援しましょう。

統一自治体選挙の投票日

- 道府県・政令指定都市の知事・議員…4月9日(日)
- 上記以外の市区町村首長・議員……4月23日(日)

2023春闘

「公共サービスにもっと投資を！」キャンペーン 大賞は『人が紡ぐ人が育てる公共サービス』

自治労は公共サービスと公共サービス労働者の重要性と存在価値をさらに社会に浸透させるため、2023春闘で「公共サービスにもっと投資を！」キャンペーンに取り組んでいる。キャンペーンの一環として行ったキャッチコピーコンテストには組合員から536点の応募があり、審査の結果、「人が紡ぐ人が育てる 公共サービス」が大賞に輝き、キャンペーン用ポスターに採用された。



市民から見える場所に掲示を

- 【大賞】人が紡ぐ 人が育てる 公共サービス
川戸英美さん 城南衛生管理組合労働組合(京都)
- 【優秀賞】「あたりまえ」が「あたりまえ」でなくなる前に
藤波直樹さん 横浜交通労働組合(神奈川)
- 無くして気付く、じゃ遅いから。 —公共サービスにもっと投資を！—
中村聖人さん 小山市職員労働組合(栃木)
- 守ろうよ みんなの生活(くらし)を守るひと
湯阪圭介さん 兵庫県国民健康保険団体連合会職員労働組合(兵庫)
- 笑顔を作る街づくり 未来を守る公共サービス
三宅勇作さん 大阪交通労働組合(大阪)

大賞作品のコンセプトに沿ってデザインされたポスター(上)。各単組は庁舎内や市民が見ることのできる場所に掲示し、アピールしよう

大賞を受賞してのコメント 川戸英美さん

城南衛生管理組合労働組合(京都)



公共サービスは提供することだけでは成り立たない。その地域の住民をはじめ利用者が育てるものでもあると考えた。「人」は組合員も含むすべての住民のこと。そこに、ひらめいた「紡ぐ」という言葉があわさった。「人」に重きを置いた武田信玄の「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」という言葉が好きです。どれほど良い施策があっても、担う「人」がいなければ住民には届かない。偶然の思い付きで応募したので、受賞はとても驚いている。



「人事院の責務を果たすことを求める」交渉団(上)(3.22人事院)／回答する河野大臣(左)と川本総裁

これを受け公務員連絡会は、回答は十分とは言えない内容であるものの、人事院勧告を基本とする賃金・労働条件決定制度のもとで、各課題の現段階における関係当局の考え方や

公務員連絡会は委員長クラス交渉委員が3月22日に川本人事院総裁と、23日には河野国家公務員制度担当大臣と2023年春季要求に関する交渉を行い、春の段階の最終的な回答を引き出した。

人事院 春闘の動向引き続き注視
「人事院の責務を果たすことを求める」交渉団(上)(3.22人事院)／回答する河野大臣(左)と川本総裁

進捗状況を明らかにさせることができたことを踏まえ、春の段階の交渉の到達点と受け止め、今後、人事院勧告期にむけ闘争態勢を堅持・強化していくことを確認した。

公務員連絡会が春段階の最終回答を引き出す 人事院勧告期にむけて 闘争態勢の堅持・強化を確認



職場ではごみ焼却場の運転・維持管理などに携わってきた川戸さん。現在は京都府本部の書記長を務める

動画を拡散して キャンペーンの輪を広げよう



公共サービスの大切さを訴えるショート動画を職種ごとに11種作成し、YouTubeにて公開中。アピール素材としてぜひ活用を



あたり前の日常を守るために



公共サービスにもっと投資を！

幸せは、ひとりじゃつくりえない。

あなたの加入が 組織加入につながります

組織加入単組なら 持病があっても、入院中の組合員でも 新規に加入できます

組織加入単組 自治労組合員の80%以上*が 団体生命共済に加入している組合

入院中の組合員も 一律加入共済契約 (=60歳までの最低保障) に加入できる!

くみん共済 NEWS 5121F045

団体生命共済 団体定期生命共済

くみん共済く全済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

不明な点があれば、まずは所属の組合にご連絡ください。契約にあたってはパンフレットをご覧ください。